

いばらきネットモニター 家庭における省エネルギー・再生可能エネルギーの取組に関するアンケート結果

1 調査目的

本アンケート調査は、家庭における省エネルギー対策・再生可能エネルギーの導入に対する意識等を調査することで、地球温暖化対策の推進に向けた効果的な普及啓発活動を行うことを目的として実施しました。

2 結果の概要

- ・「いばらきエコスタイル」という言葉の認知度は、回答者の 27.8%であった。
- ・過去 3 年間に家庭で実践した省エネルギー・再生可能エネルギーの取組は、「日常生活におけるエコな取組（冷蔵庫やエアコン等の使い方の工夫、エコバックの使用等）」が 46.5%と最も高く、省エネルギー対策等に取り組んだ理由としては、「光熱費を抑えるため」と回答した割合が 43.7%と最大であり、家計を抑えるために日常生活で簡単に実践できる取組が重要視されていた。
- ・家庭で省エネルギー対策等の取組を実践していない理由では、「費用がかかるため」と回答した割合が 35.8%と最も高く、次いで「今の生活スタイルのままで困っていないため(20.7%)」、「手間がかかり、面倒であるため(18.1%)」が高い割合を占める結果となった。
- ・今後家庭において実践したい取組については、「日常生活におけるエコな取組（冷蔵庫やエアコンの使い方の工夫、エコバックの使用等）」が 36.7%と最も高く、日常生活で簡単に実践できる取組が重要視されている。
- ・省エネルギー・再生可能エネルギーの取組に必要な情報として、「簡単に実践できる取組に関する情報」と回答した割合が 37.9%と最も高く、次いで「取組を実践することで参加できるキャンペーンに関する情報(23.4%)」であった。

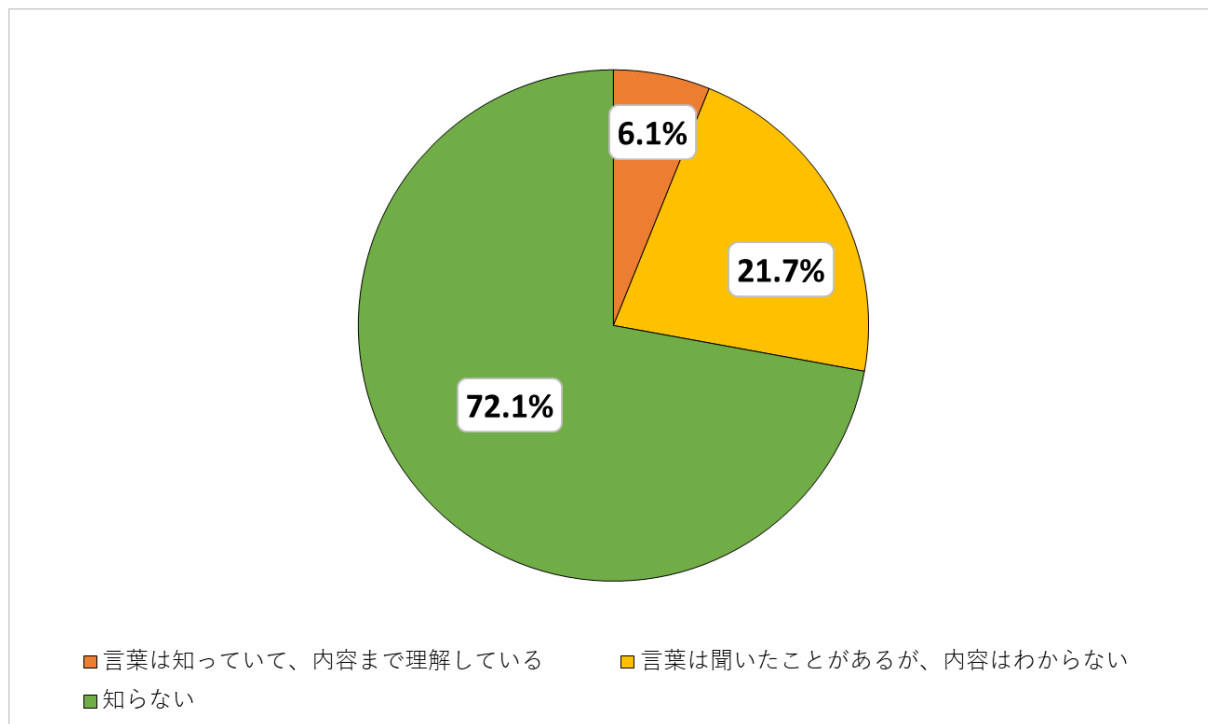
〈今後の事業展開〉

- ・家庭における省エネルギー・再生可能エネルギーの取組として、日常生活にて簡単に実践できる取組が重要視されているため、簡単な取組の実践により参加できるキャンペーンの実施や環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」の広報物作成・配布、県ホームページ及び SNS 等を活用した普及啓発をより一層行い、地球温暖化対策に関する取組を推進していく。

【問１】（県民運動「いばらきエコスタイル」の認知度）

あなたは、茨城県が推進している、環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」という言葉を知っていますか。

（n=1,274）



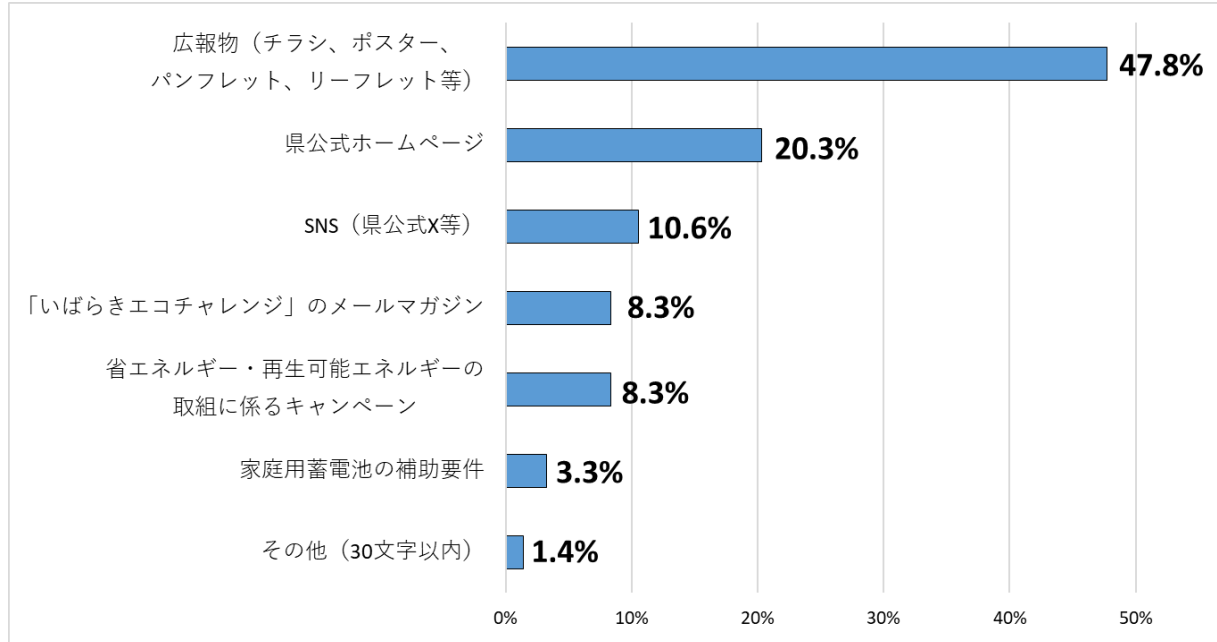
○「言葉は知っていて、内容まで理解している」、「言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない」と回答した割合が 27.8%（355 人）であったのに対し、「知らない」と回答した割合は 72.1%（919 人）であった。

【問 2】（県民運動「いばらきエコスタイル」を知ったきっかけ）

（問 1 で「1 言葉は知っていて、内容まで理解している」、「2 言葉は聞いたことあるが、内容はわからない」を選択した方へ）

あなたが、県民運動「いばらきエコスタイル」を知った又は聞いたきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

（n=492）



○県民運動「いばらきエコスタイル」を知った又は聞いたきっかけとして、「広報物（チラシ、ポスター、パンフレット、リーフレット等）」という回答が全体の 47.8%を占めており、次いで「県公式ホームページ」が 20.3%、「SNS（県公式 X 等）」が 10.6%であった。

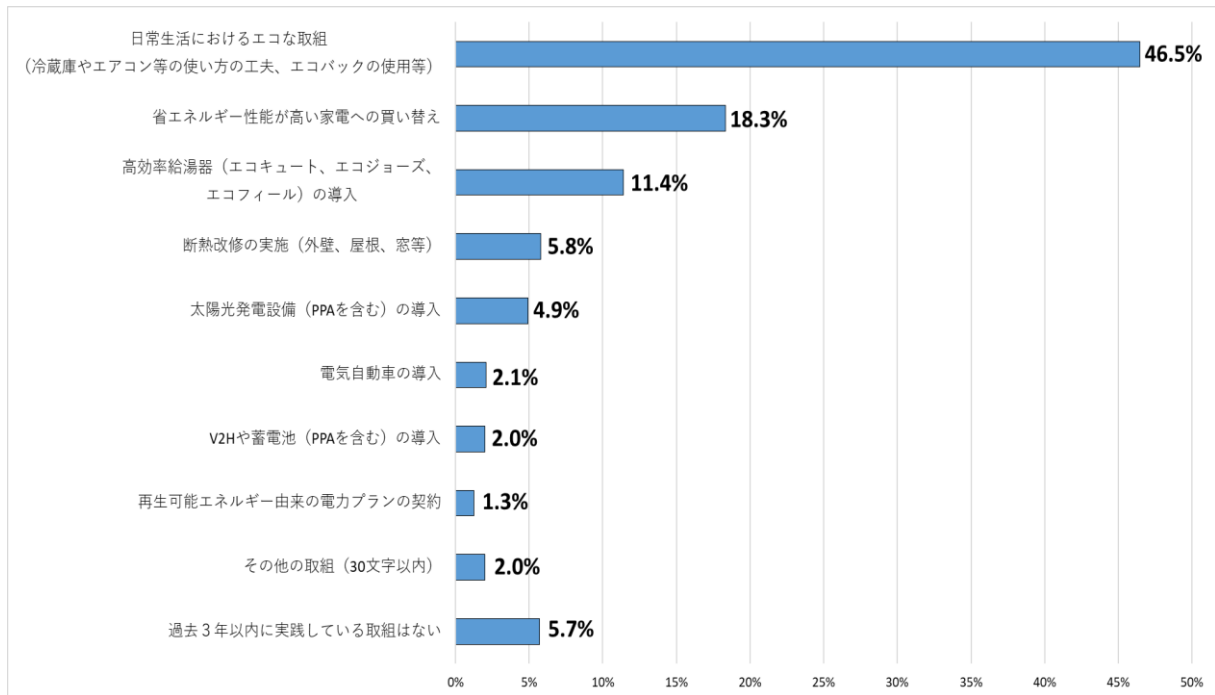
○「その他」（1.4%）として、次のような意見が挙げられた。（計 7 件）

- ・県の広報誌ひばり
- ・仕事で知った
- ・ニュース

【問3】（省エネルギー・再生可能エネルギーの取組実践経験）

あなたが、過去3年以内に家庭において実践している取組はありますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=2,240)



○「日常生活におけるエコな取組（冷蔵庫やエアコン等の使い方の工夫、エコバックの使用等）」という回答が46.5%であり、次いで「省エネルギー性能が高い家電への買い替え」が18.3%であった。

○「その他」（2.0%）として、次のような意見が挙げられた。（計45件）

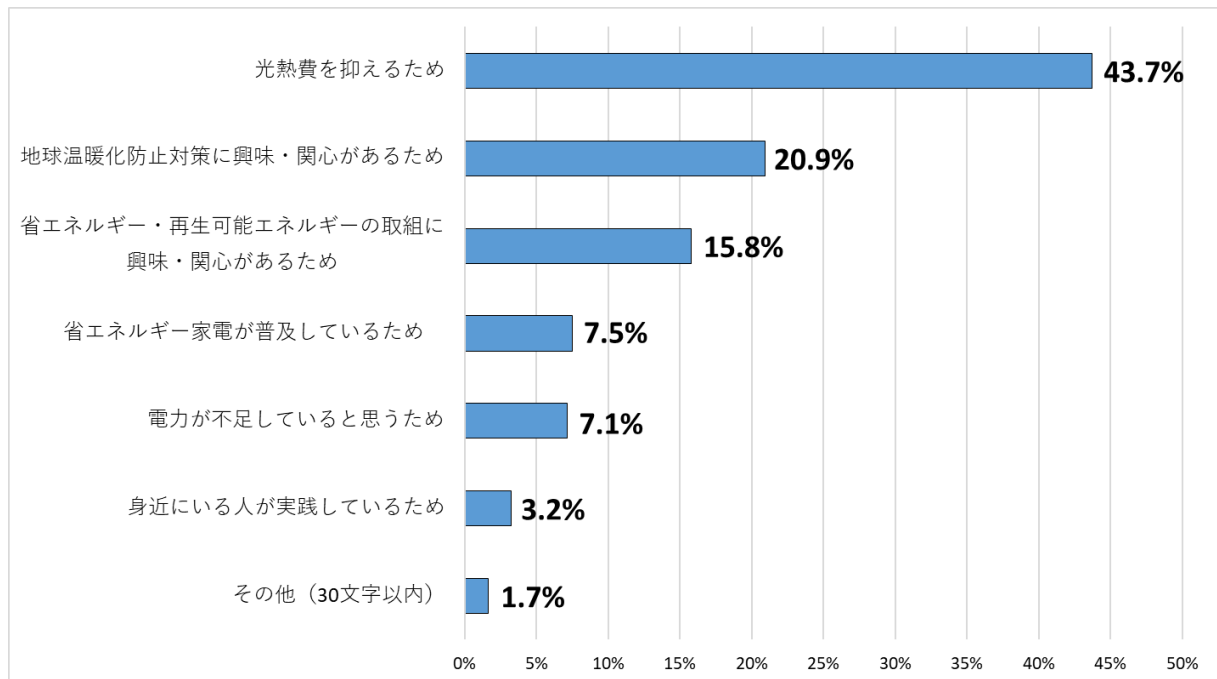
- ・自家用車をハイブリッド車、低燃費車への買い換え
- ・外出は自家用車ではなく公共交通機関・自転車・徒歩・階段を利用
- ・生ゴミを家庭菜園の肥料に活用している

【問4】（取組を実践する理由）

（問3で選択肢1～9を選択した方へ）

あなたが、家庭において省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を実践している理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

（n=2,098）



○家庭において省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を実践する理由として、「光熱費を抑えるため」という回答が43.7%であり、次いで「地球温暖化対策に興味・関心があるため」が20.9%、「省エネルギー・再生可能エネルギーの取組に興味・関心があるため」が15.8%であった。

○「その他」（1.7%）として、次のような意見が挙げられた。（計35件）

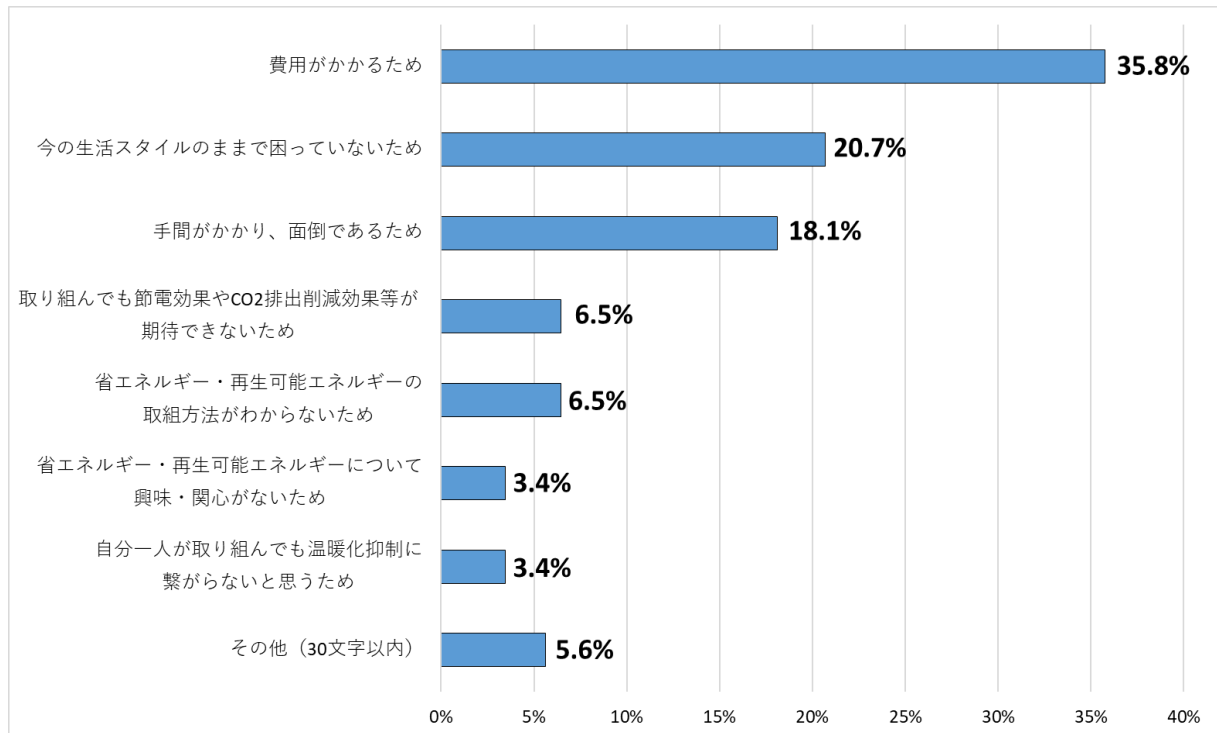
- ・補助金が出るため
- ・レジ袋などの雑出費を減らすため
- ・災害時の電力確保を事前にテストしておきたいため
- ・物価、エネルギー価格共に上がっているので生活費カットの一環
- ・地球環境を守るため

【問 5】（取組を実践していない理由）

（問 3 で選択肢 10 を選択した方へ）

あなたが、家庭において省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を実践していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=232)



○家庭における省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を実践していない理由として、「費用がかかるため」という回答が 35.8%であり、次いで「今の生活スタイルのままで困っていないため」が 20.7%、「手間がかかり面倒であるため」が 18.1%であった。

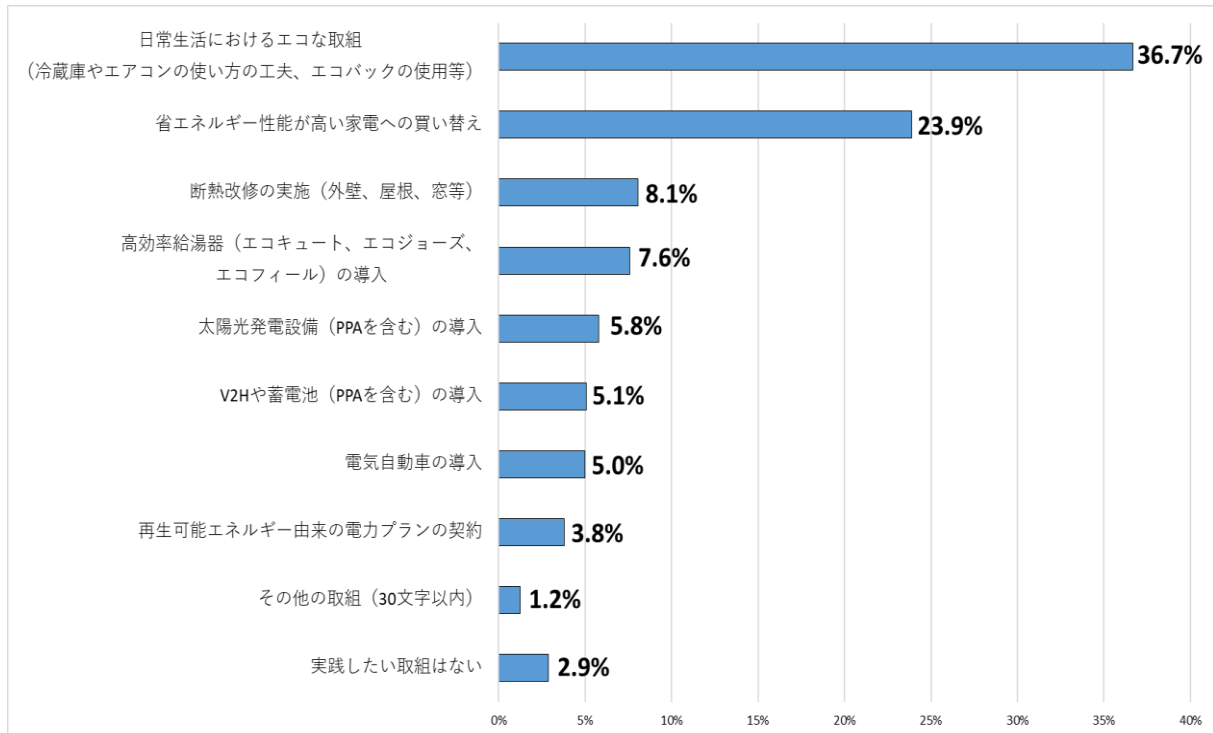
○「その他」(5.6%)として、次のような意見が挙げられた。(計 13 件)

- ・賃貸なので、取り組みを実施しにくい
- ・コストメリットを特に感じないため

【問 6】（今後実践したい省エネルギー・再生可能エネルギーの取組）

あなたは、今後家庭においてどのような省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を実践したいですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=2,603)



○「日常生活におけるエコな取組（冷蔵庫やエアコンの使い方の工夫、エコバックの使用等）」という回答が 36.7%であり、次いで「省エネルギー性能が高い家電への買い替え」が 23.9%であった。

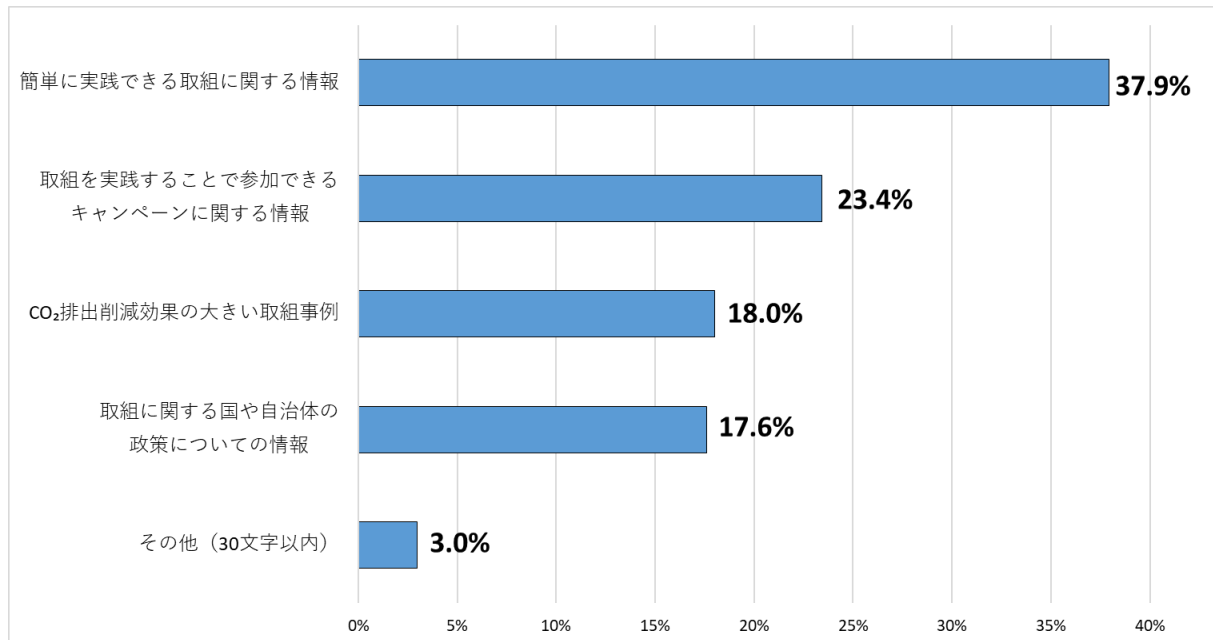
○「その他」（1.2%）として、次のような意見が挙げられた。（計 32 件）

- ・衣服を気候調整して省エネ、光熱費の節約
- ・入浴後の湯水の活用、テレビのつけっ放し防止の徹底
- ・省エネシャワーヘッドに替える、外出時に家電のコンセントを抜く
- ・コンポストの導入
- ・庭へ植木を植え、放射冷却や遮熱による気温調整
- ・地球と共存するための、自分なりの考察や取り組み

【問 7】（省エネルギー・再生可能エネルギーの取組に必要な情報）

あなたが、家庭における省エネルギー・再生可能エネルギーの取組について必要だと考える情報は何か。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=2,672)



○「簡単に実践できる取組に関する情報」という回答が 37.9%であり、次いで「取組を実践することで参加できるキャンペーンに関する情報」が 23.4%であった。

○「その他」（3.0%）として、次のような意見が挙げられた。（計 80 件）

- ・県民・市民に対する見えやすいメリット
- ・賃貸住宅に住んでいる場合にできること、お金がなくてもできること
- ・地域自治体からの取組に対するイベント実施

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・家庭における省エネルギー・再生可能エネルギーの取組として、日常生活において簡単に実践できる取組が重要視されていることがわかったため、簡単な取組の実践により参加できるキャンペーンの実施や環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」の広報物作成・配布、県ホームページ及び SNS 等を活用した普及啓発をより一層行い、地球温暖化対策に関する取組を推進していく。
- ・アンケート結果については、家庭における地球温暖化対策の推進に向けた効果的な普及啓発活動の参考資料として使用する。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調 査 時 期：2025 年 5 月 2 日～2025 年 5 月 15 日まで

調 査 方 法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モ ニ タ ー 数：1,730 名

回 収 率：73.6%(回収数 1,274 名)

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（％）
全体（n）		1,274	100.0
地域別	県北	110	8.6
	県央	399	31.3
	鹿行	71	5.6
	県南	397	31.2
	県西	95	7.5
	県外	202	15.9
性別	男性	547	42.9
	女性	727	57.1
年齢別	16～19 歳	12	0.9
	20～29 歳	62	4.9
	30～39 歳	185	14.5
	40～49 歳	310	24.3
	50～59 歳	338	26.5
	60～69 歳	237	18.6
	70 歳以上	130	10.2
職業別	自営業	97	7.6
	会社員	477	37.4
	団体職員	53	4.2
	公務員	62	4.9
	主婦・主夫	262	20.6
	学生	29	2.3
	無職	151	11.9
	その他	143	11.2

(2) 担当課

茨城県県民生活環境部環境政策課（地球温暖化対策グループ）

電話：029-301-2939

E-mail：kansei3@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第 2 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。